

総会報告

― 副会長は^{せき}關 取締役が就任！ JIP 支部が新支部として発足 ―

10月3日午後1時より、明治神宮至誠館第二弓道場2階会議室で役員総会を開催した。大室事務局長による議事進行、島田会長、黒田副会長、黒沢相談役、梅本相談役、大光明相談役、富澤相談役、岩田相談役、池田相談役の出席のもと、議事を開始した。
定例の議題に加え、NTTデータグループの傘下である日本電子計算(株)より「JIP支部」の新規加入が決定。また、阪本副会長に代わって關副会長が就任された。本50回大会以降の大会運営、連盟運営方針についても審議、すべての議案は提案通り可決・承認された。

【議事内容】

- (1) 平成26年度会計報告、会計監査報告
- (2) 50回以降の大会運営・連盟組織運営について
- (3) JIP 支部の発足について
- (4) 平成27年度予算案および年会費について
- (5) 全国大会実施概要について
- (6) 各支部の活動状況報告

- (7) 報告事項：役員の近況及び会員の計報
木村克己相談役 逝去

- (8) 平成27年度役員選出について

退任 副会長： 阪本作郎
新任 副会長：關 雅夫(NTT東日本 取締役 営業推進本部長)
常任理事：窪田圭司、武田健太郎
担務変更 金子哲也(全国大会担当、広報担当兼務)
小林 心(広報担当→総務担当)

- (9) 第51回全国大会の実施予定

・主管：四国支部 ・時期：平成28年9月 ・場所：徳島県
・以後の予定：52回関東、53回九州、54回東北

- (10) その他



關副会長



総会風景



金子全国大会担当



JIP支部 阿部代表

活動状況

昇段・昇格

◆教士： 松岡(北陸)、小坂(北海道) ◆錬士： 西村(信越)、三谷(北陸) ◆六段： 樋口(関東)

◆参段： 泉田(データ) ◆貳段： 砂月(九州)、後藤(ドコモ) ◆初段： 熊木(ドコモ)

各支部活動

【中央支部】 東京三地連の例会、選手権、新年射会への参加、その他、中塚範士講習会への参加、支部合宿や月例会の開催。

【東京支部】 三多摩勤労者大会で団体・個人優勝をはじめ上位入賞多数、全日本実業団大会で池田が個人3位、東京都実業団大会、全日本勤労者大会への参加、その他、中塚範士講習会、支部合宿、月例会の開催。

【関東支部】 全日本男子選手権に堀部が参加、千葉県実業団大会で団体優勝、その他、支部の初射会、春季大会、合宿等の開催。

【信越支部】 西村が国体新潟代表ならびに全日本遠的選手権に選抜、厳しい運営状況の中、新入部員1名を獲得。

【東海支部】 椿大神社社会で畑出が優勝、その他、支部大会を2回開催。7名が各地の初心者教室講師としても活動中。

【北陸支部】 宝達志水町押水弓道場大会で山本(輝)が優勝、ゆーりんピック大会で山本(司)が団体準優勝、ゆうゆうクラブ射会で正札が優勝。

【関西支部】 全日本女子選手権に北川が出場(最高得点賞)、全日本男子選手権に野中が出場、大阪府冬季例会で船津(綾)が称号の部女子優勝、谷口が滋賀県生涯スポーツ功労者賞受賞。

【四国支部】 春季ねりんん大会で村上(範)が優勝、東四国大会で高原が女子の部優勝、全徳島大会5部で福本が優勝、徳島県下支部対抗で天野が団体優勝。

【九州支部】 渡邊がねりんピック熊本代表に選抜、全日本勤労者大会(熊本代表)への参加、その他、熊本地区を中心に各種大会へ参加、支部大会の開催。

【東北支部】 月2回程度の東北電力との合同練習の他、主に宮城、山形で開催の大会へ参加。

【北海道支部】 札幌地区職域対抗大会で団体3位、岩瀬が個人一部優勝、札幌弓道連盟納射会で盛川が優勝、北海道神宮大式的に岩瀬が射手として参加、その他、各種講習会に参加。

【ドコモ支部】 木俣が全日本実業団、全日本勤労者大会への出場、横須賀市民大会で神代が個人2位、その他、支部合宿の開催、各種講習会への参加。新入部員1名を獲得。

【データ支部】 立川市近隣射会で池田が優勝、大阪実業団親睦射会で吉田が優勝、その他、社内福利厚生イベント「小笠原流体験会」、組合レク「浅草流鏑馬観覧会」等を開催。新入会員を継続勧誘、8名の新入部員を発掘。

御礼

本 記念大会の開催にあたり、(公財)全日本弓道連盟からご後援を頂きました。また19の関係企業各社様から、大会プログラムへの広告掲載のご協力を頂きました。加えて、以下の皆様より過分なご寄付を頂きました。

【寄付者ご芳名】全日本弓道連盟様、小笠原清基様、山田名誉顧問、中塚顧問、黒沢相談役、梅本相談役、大光明相談役、本橋相談役、池田相談役
皆様のご厚情に感謝申し上げます

NTTグループ 弓道

第六十四号

平成27年10月31日発行
東京都調布市入間町1-44
NTTグループ弓道連盟
発行責任者 大室 伸
編集責任者 金子 哲也
(写真 窪田圭司)

次回大会：
第51回NTTグループ全国弓道大会
主 管：四国支部
開催日：平成28年9月(予定)
開催地：徳島県(予定)

◆◇第50回記念NTTグループ全国弓道大会、明治神宮武道場至誠館第二弓道場にて開催◇◇

第50回記念NTTグループ全国弓道大会が10月3-4日の2日間に渡り明治神宮武道場至誠館第二弓道場で開催された。

3日は冒頭、特別演武として小笠原流三十一世宗家御嫡男小笠原清基先生ほか同門会の皆様による小笠原流騎射「木馬の型」が披露され、引き続き記念式典が行われた。島田会長の主催者挨拶、ご来賓である柴田 猛 全弓連会長の祝辞、大室事務局長の挨拶ののち、祝射会に移り、全弓連柴田会長による巻藁射礼(介添：本橋秀夫教士六段、田中健二教士六段)、本弓道連盟会員代表として岩田宗光教士七段 富澤明教士六段、野中秀治教士七段による一つの射礼が行われた。

夜は、アイビーホールに会場を移し祝賀会が行われ、冒頭、ご臨席いただいた功労者の皆様への感謝状の贈呈、島田会長から感謝の言葉ののち、關副会長の乾杯により宴がスタートした。なお感謝状を受けられたのは次の方々です。【全日本弓道連盟様、片山名誉顧問、中塚顧問、高島顧問(贈呈は4日)、黒沢相談役、伊藤相談役、梅本相談役、大光明相談役、本橋相談役、富澤相談役、岩田相談役、池田相談役】

会場のスクリーンには50回を振り返っての懐かしい写真が映し出され、片山名誉顧問やOB諸先輩方からも思い出話を頂き、山田名誉顧問のビデオレターも飛び込んだ。時の移り変わり、全国大会の変遷の重みを改めて一同で共有した。恒例の各支部からの決意表明は、往年の懇親会司会者梅本相談役がマイクをとり、初参加のJIP支部からも力強い決意表明がなされた。会は黒田副会長の中締めでお開きとなった。

翌4日の本大会は、顧問、相談役メンバーで組成した本部チーム対北海道支部の対戦で団体戦の幕開け。本部チームの善戦で緒戦から大いに盛り上がった。その後本部は北陸支部と対戦。同中による1本競射に2度持ち込むも。最後は1本差で涙を飲んだ。例年になく接戦が多い中、唯一高的中を維持し、前回優勝のデータ支部を破った東京支部が最多14回目の優勝に輝いた。九州は27回大会以来の優勝を逃した。

個人戦では、一部・武田太一選手(データ)、二部・小田新一郎選手(九州)、三部・岩田宗光選手(東京)が優勝し、3人による射詰の結果、小田選手が個人総合優勝、名越賞を受賞。優秀選手賞は横瀬正夫選手(東京)、女子優秀賞には栗飯原まきえ選手(関東)が選ばれた。

大会結果

団体戦

今大会は、50周年記念大会として開催され、相談役、顧問で組成した本部と新規加入したJIP支部が加わったが、メンバーが揃わなかった東北支部が残念ながら欠場となった。監督会議の抽選の結果、東海、関東の2支部がシード権を確保する。

▼1回戦

第1試合：本部8-北海道6

北海道支部は、大前岩瀬選手が皆中と奮闘するものの、後が続かず、後半的中を伸ばした本部が勝利した。

第2試合：信越3-北陸10

1本目は、両チームとも中的が伸びず、0対1の1本差だったが、北陸支部が的中を伸ばし、7本差の大差で勝利した。

第3試合：九州6-中央4

一手終了時点で、両チームともに大前が2中と引っ張るものの、3中同士と低調な展開、6対4で九州支部が辛勝した。

第4試合：ドコモ9-2-4-四国9-2-3

大前が引っ張る四国支部が、一手を終了した時点で7中と中的を伸ばし、ドコモに2本差を付けて優勢であったが、その後の中が伸びず、ドコモがしぶとく同中とし、競射2回目で4人的中させたドコモが勝ち進んだ。

第5試合：JIP5-東京12

東京支部が3本目全中し、初参加のJIP支部に大差を付けて勝利した。

第6試合：関西8-データ11

関西支部が3本目に4中して同中に追いつくも、データ支部が大前の頼政選手の引っ張りもあり、最後4人が的中させ、逃げ切り勝利した。

▼2回戦

第1試合：本部10-4-1-北陸10-4-2

一進一退の接戦で、両チームともに最後の大將の一本で勝敗を分ける試合が続き、最後に力の尽きた本部に対して、北陸支部が辛勝した。

第2試合：九州10-東海8

3本目終了時点で1本劣勢の九州支部が、最後に4人が的中させ、逆転で勝利した。

第3試合：ドコモ14-3-東京14-4

一手終了時点で7対6と僅差で東京がリードし、3本目は両チームともに全中させ、白熱の対戦となったが、ドコモが最後追いつき、1回戦に引き続き同中となった。競射では、東京が実力を発揮し、4対3で粘るドコモに勝利した。

第4試合：データ8-関東5

中的の伸びない関東支部に対して、リードを広げたデータ支部が逃げ切り勝利した。

▼準決勝

第1試合：北陸8-2-2-1-九州8-2-2-2

着実に1本ずつ差を詰めた九州支部が、最後に追いつき競射に持ち込み、追いつがる北陸支部を3回目の競射で倒して勝利した。

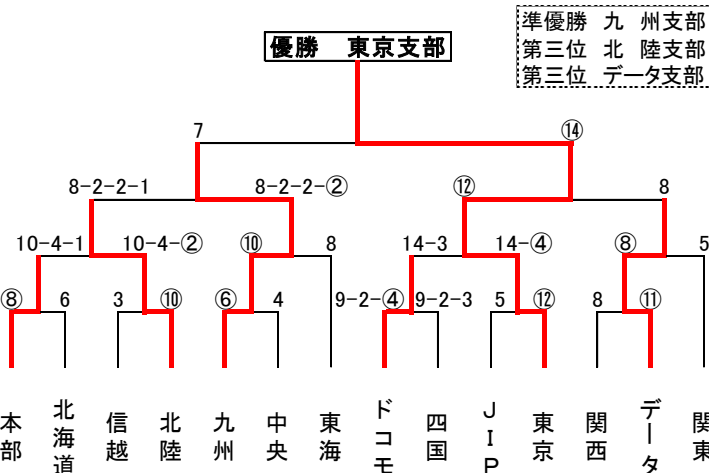
第2試合：東京12-データ8

前回優勝のデータ支部に対して、1回戦から安定した的中で勝ち進んできた東京支部が3本目で逆転し、リードを広げて勝利した。

▼決勝

九州7-東京14

2本目を全員的中させ逆転した東京支部が、その後も的中を重ねて快勝し、3年ぶり14回目の優勝を果たした。



団体戦 優勝 東京支部



団体戦 準優勝 九州支部

大会写真集



来賓射礼(柴田全弓連会長)



特別演武
小笠原流 騎射「木馬の型」



会員代表 祝射
(岩田・富澤・野中 各教士)



感謝状贈呈



山田名誉顧問ビデオレター



決意表明司会 梅本相談役



団体戦 優勝 東京支部



団体戦 準優勝 九州支部



個人一部 優勝
データ支部 武田選手



個人二部 優勝
個人総合優勝・名越賞
九州支部 小田選手



個人三部 優勝
東京支部 岩田選手



女子優秀賞
関東支部 粟飯原選手



記念式典 集合写真



大会結果

個人戦

【一部】 参段以下 出場者35名 (7中～5中各1名、4中4名)
優勝 武田太一(データ) 7中 ○×○○○○○
準優勝 秋松泰史(東海) 6中 ○○○×○○×
第三位 頼政秀幸(データ) 5中 ○○○××○×○
第四位 牧野雄一(東海) 4中 ○××○○××○ 遠近
第五位 藤部秀樹(ドコモ) 4中 ×○○○×××○ 遠近

【二部】 四・五段 出場者40名 (7中1名、6中5名)
優勝 小田新一郎(九州) 7中 ○○○○○×○○
準優勝 野中善裕(東京) 6中 ○○○×○×○○ 遠近
第三位 村上敏行(四国) 6中 ○○○×○○○× 遠近
第四位 廣木栄則(関東) 6中 ○○××○○○○ 遠近
第五位 武田健太郎(データ) 6中 ○×○○○○×○ 遠近

【三部】 称号者 出場者40名 (8中1名、6中4名)
優勝 岩田宗光(東京) 8中 ○○○○○○○○
準優勝 藤原真(東京) 6中 ×○○○○×○○ 遠近
第三位 向吉弘己(ドコモ) 6中 ○×○○○○○× 遠近
第四位 福本交伸(四国) 6中 ○○○○××○○ 遠近
第五位 田中健二(東京) 6中 ○×○○×○○○ 遠近

【総合優勝決定戦】
一部 武田太一(データ) × 遠近
二部 小田新一郎(九州) × 遠近 総合優勝
三部 岩田宗光(東京) × 遠近

特別賞

【優秀選手賞】
横瀬正夫(東京)

【敢闘選手賞】
黒沢秀行(本部) 佐藤哉子(中央) 廣木栄則(関東)
滝田絵梨(信越) 山本勝弘(東海) 松岡和子(北陸)
西村卓馬(関西) 村上敏行(四国) 小田新一郎(九州)
栗城和也(北海道) 木俣録八(ドコモ) 窪田圭司(データ)
榎木美紀(JIP)

【女子優秀賞】
粟飯原まきえ(関東)

【名越賞】
小田新一郎(九州)



個人戦 入賞者



団体戦 第三位 信越支部



団体戦 第三位 データ支部



全日本弓道連盟・NTTグループ弓道連盟 賞品